



入学式で学部入学生代表として宣誓する、医学部 近藤蔵人さん

特集

平成28年度 教養教育改革始動!

- 全学体制の再構築
- カリキュラム改革 (初年次教育科目の導入)

- 01 特集
- 02 送る言葉。迎える言葉。／開学70周年に向けて
- 03 NCU現場探訪レポート
- 04 TOPICS
- 05 学生の活躍／国際交流
- 06 受賞関連／平成28年 熊本地震によせて
- 07 イベントカレンダー／著書・発行物紹介／寄附顕彰

DONATION

あなたの力が支えます。 ご寄附のお願い

名古屋市立大学では、高いレベルの教育、研究、医療などの活動を展開し、市民に開かれた大学づくりを実践していくために、寄附金を募集しております。

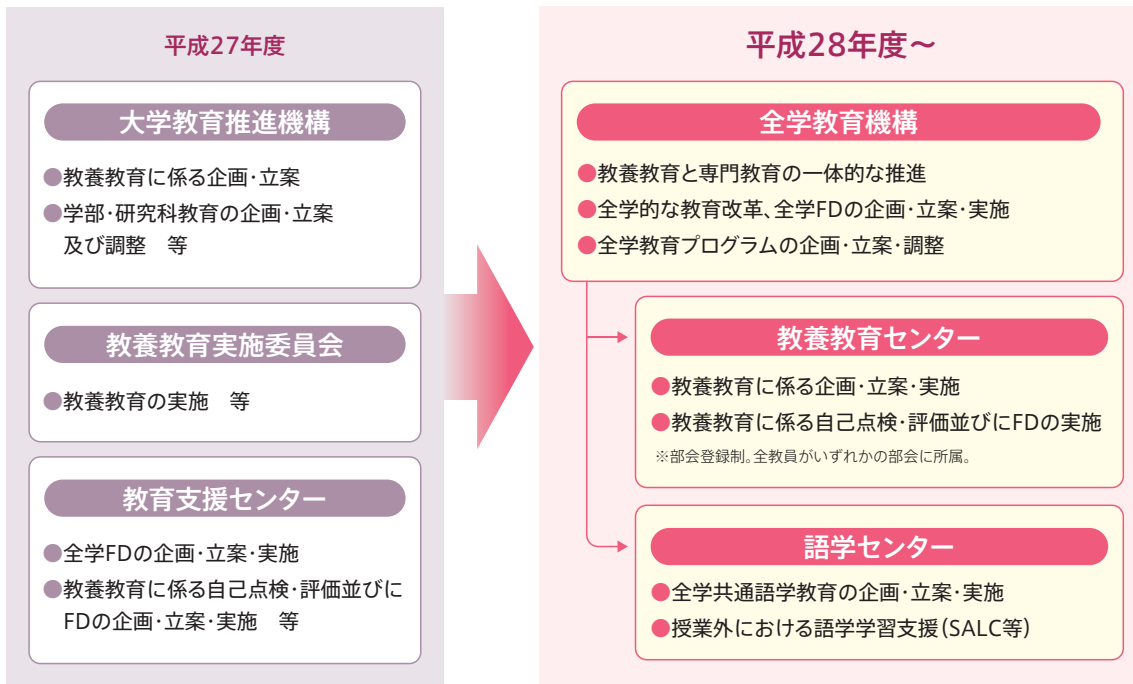
問合せ：事務局総務課
tel.052-853-8005

2016年4月 教養教育改革が始動しました！

6学部7研究科から構成される本学における教養教育は、これまで一部の教員や非常勤の先生方が中心として担っており、専門教員の力量を十分に生かしたものとは言えませんでした。本年度から、全ての教員が参画する教養教育、すなわち「名古屋市立大学の教育力を結集し全ての学生の成長を支える教育」を発進させることとなりました。



全学体制の再構築



カリキュラム改革(初年次教育科目の導入)

「教養教育」と大学入学直後の「初年次教育」とを目的意識的に切り離し、教育内容を充実させました。

教育内容や授業方法は、各部局より選出された授業開発担当者が中心となり検討しました。

【開講科目】

「大学生になる」 「大人になる」 「社会人になる」 「NCU先端科目」

大学生としての学び方や社会人基礎力の基本等を学修します。また、研究や知的探求の面白さを知り学ぶ動機を高めます。



学長補佐(教養教育)
教養教育センター長
高石 鉄雄

平成26年度から準備を進めてきた教養教育の新体制がいよいよスタートしました。大学にはいま、質の高い研究はもとより、社会人基礎力の修得を含む質の高い教育が求められています。教養教育に対する学部間の考え方、単位数、履修条件など、今後検討・改善すべき問題が多数残されています。より良い教育を提供するため、これからも皆様のご協力のほど、よろしくお願いいたします。



卒業生・新入生の皆さんに、郡学長が贈られたメッセージです。

※卒業式・入学式の式辞より抜粋。

MESSAGE

名古屋市立大学 理事長 学長
郡 健二郎



平成27年度 卒業式 2016.3.25 FRI

901名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。



「世のために尽くした人の一生ほど美しいものはない」。その人こそが緒方洪庵だと司馬遼太郎さんは紹介しています。

洪庵は、オランダ医学で学んだ「たいまつ火」を福沢諭吉や大村益次郎など弟子一人一人に移し続け、その火はやがて日本の近代を照らしたのです。

本学を巣立つ皆さんは、洪庵のたいまつ火のように、社会を照らし、未来を切り拓く逸材になってください。それがご家族ならびに教職員の心からの願いです。

平成28年度 入学式 2016.4.5 TUE

1,065名の新入生ならびにご家族の皆さん、ご入学心よりお祝い申し上げます。

本学は、132年の歴史と伝統のもと、現在では医学・薬学・経済・人社・芸工・看護・システム(略称)の7人家族に育ち、世界をリードする大学を目指しています。さらに進化するには、家族の年齢や専門性の違いを乗り越え協同することです。皆さんは、「オール名市大の学生」との誇りを持ってください。本学では、学部横断的な未来プランを掲げ、皆さんをサポートしてまいります。



入学生宣誓を読み上げる留学生代表



For the **70th** anniversary of NCU's founding 2020年で開学70周年

開学70周年に向けた様々な取り組みをご紹介します。

大学生が65年前にタイムスリップ!? 開学65周年記念映画「儚時計」を上映!

2016年3月18日(金)、芸術工学部栗原映像研究室の学生ら制作による、開学65周年記念映画「儚時計」をミッドランドスクエアシネマで上映しました。栗原映像研究室の映画を初めてご覧になった一般のお客様も多く、クオリティの高さに「もう一度見たい!」という声も多く寄せられました。上映会ではプロの役者を中心とした出演者による舞台挨拶や、名古屋市立大学管弦楽団による主題歌の生演奏も行われました。



制作にご協力いただいた方々と上映会後に記念撮影



65年前の学生服で映画を紹介する司会



現場探訪レポート

名古屋市立大学の取り組みを、学部・研究科・事務局それぞれの「現場」の視点からお届けいたします。

事務局

平成28年度から事務局改編・新体制を発足しました！

事務局には9つの課・室(総務課、企画広報課、財務課、施設課、学術課、学術情報室、学生課、入試課、教務企画室)があり、約90名の職員が連携を図りながら大学の運営に携わっています。今年度4月からの新体制として、企画広報課を設置しました。企画立案機能の強化や、機動的・効果的な広報体制の充実を図ることを目的に、今後より一層大学の持つ魅力を強く社会へと発信するよう務めます。

また、15年後の明るい未来を築く「名市大未来プラン」を着実に実行し、安定した大学運営を維持していくため、今年度より学長特別補佐を設置しました。学長特別補佐には、文部科学省から招へいされた、黒木特任教授が就任し、副理事長や理事、学長補佐らと連携しながら、理事長の特命事項について取り組みます。新たに就任した、理事、病院連携理事、学長補佐、学長特別補佐に意気込みを伺いました。

平成28年度 就任のごあいさつ

■ 理事(非常勤)



財務担当
加藤 博

研究、教育、医療という大学本来の「公益事業を進めること」と「健全な大学運営を図ること」とのバランスを取り、適正な財政運営を目指し、本学の発展のため、微力ながらお役に立てばと存じております。



産学官・地域連携担当
佐々木 剛史

本年度から理事を拝命致しました。特に産学官・地域連携担当として、微力ながら、本学が研究と産業の交差点としてより輝けるよう力を尽します。「知恵を力に」を実践したいと思えます。

■ 病院連携理事



名古屋市病院局長
医学研究科 教授
大原 弘隆

4月から名古屋市病院局長とともに病院連携理事を拝命しました。市立病院と大学病院の連携をより強化し、さらに良質かつ安全な医療を提供できるよう努めてまいりますので、ご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

■ 学長補佐



市医療センター
医学研究科 教授
浅井 清文

名古屋市立東部および西部医療センターと本学との連携を更に深化させ、優秀な医療人を育成するとともに、この地域に、なおいっそう安全で高度な医療を提供出来るよう体制づくりに努めて参ります。



施設担当
芸術工学研究科 教授
鈴木 賢一

名市大未来プランのビジョン「誇りを持ち、愛される名市大・教育・研究・診療の環境づくり」に沿って、分散したキャンパスの統合を視野に入れた大学活動を支える将来のキャンパスのあり方を検討いたします。

■ 学長特別補佐



医学研究科 特任教授
黒木 慎一

わが国、そして世界の経済、社会は、激動の変革期にあります。この変革期をチャンスとして捉え、光り輝く教育、研究機関として発展するため、いち早く変化の波を掴み、果敢に挑戦する研究体制の確立に努めます。

新規採用者研修を行いました！

新規採用者に向けて研修を開催しました。研修を通して芽生えた「このような大学職員になりたい」という思いを実践につなげ、本学に新たな風を吹き込んでくれることを期待しています。



4月5日(火) 事務系職員・病院職員の合同研修



4月15日(金) 事務系職員研修のグループワークでは積極的に意見を出し合いました

TOPICS

名古屋市立大学の最近のトピックス・主な出来事をご紹介します。

Kick-Off Symposium in Nagoya City University 2016 を開催!

本学の「エピゲノム情報制御機構の解明と臨床応用」研究グループが2015年10月に独立行政法人日本学術振興会の「頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム」に採択されました。この研究は、6つの海外連携拠点と国際研究ネットワークを構築し、「エピゲノム情報制御の基本機構を解明し、その知見をがん・神経疾患に臨床応用する知識・技術基盤を確立すること」を目的としています。この研究に関するキックオフシンポジウムを2016年2月29日(月)、3月1日(火)の2日間にかけて開催し、約210名の方が参加されました。今後は、国際ネットワークを更に活用し、研究を進めていきます。



キックオフシンポジウムにご参加いただいた方々と記念撮影



エピゲノムとは?

エピゲノム情報は、DNA塩基配列に規定されたゲノム情報と異なり、ヒストンやDNAの化学修飾を介して、生活環境、あるいは刺激に反応して可逆的かつ多様に情報を書き換えることにより、異なる細胞表現型を制御するシステムのことであり、近年世界中の注目を集めています。



医学部附属病院が「乳がん治療・乳房再建センター」、 「アイセンター(眼科)」を開設!

2016年4月1日(金)に「乳がん治療・乳房再建センター」を設置しました。乳がんに関わる専門家が連携し、最先端かつ最良の治療やサポートを提供していきます。併せて眼科外来を拡張し「アイセンター(眼科)」としてリニューアルしました。最新機器を導入するとともにロービジョン外来を設置し、これまで以上に高度な医療に取り組んでいきます。



名古屋市科学館とサイエンスパートナーシップを締結!



名古屋市府役所での締結式の様子

2016年3月29日(火)、次代の科学系・技術系人材の育成及び地域社会の発展に寄与することを目的に、名古屋市科学館とサイエンスパートナーシップを締結しました。医薬系の医療系3学部をもち、その基礎となる生命科学中心の理学教育に注力している本学と、地域の科学に関する学習拠点である名古屋市科学館が相互に連携し、科学教育及び科学に関する知識の普及啓発を図ります。

「第2回 名市大・名工大 共同セッション」を開催!

2016年3月4日(金)、医学部附属病院にて医工連携の一環として、名古屋工業大学との共同セッションを開催しました。今回は、名工大教員が本院の主要施設を見学後、医療技術職員と医療機器について活発な意見交換を行いました。名工大教員からは「先端医療現場にてロボット化・情報化の状況を間近で見ることができ大変勉強になった」といった声が寄せられました。



「なごやかフェスタ2016 in 緑区」を開催!

2016年2月28日(日)、名古屋市徳重地区会館にて、「なごやかフェスタ2016 in 緑区」を開催しました。将来の超高齢社会に対応できる医療人を養成する『なごやかモデル』が、緑区の市民交流・連携を図り、学生や高齢者が共生する活動を広げていくために市民体験型発表会を開催し、当日約300名の参加がありました。





学生の活躍



名古屋市消防局×名古屋市立大学・中京大学 大学生消防団を結成!

2016年4月から名古屋市消防局が、消防団活動を補完することを目的とした「機能別消防団」を設置しました。名古屋市では初めてとなる「大学生消防団」の一員として、本学と中京大学の学生が活躍します。大学生が自分たちでできることを考えながら

活動し、救命救急技術の習得やイベントへの参加を通じて防火・防災の普及活動などに努めます。2016年4月1日(金)には大学生消防団任命式が行われ、団長として人文社会学部4年の若原睦実さん(写真右から2番目)が市長より任命されました。

薬学部

文部科学省主催「第5回サイエンス・インカレ」で受賞!

薬学部3年の小林里帆さんが「第5回サイエンス・インカレ」で国立研究開発法人科学技術振興機構理事長賞を受賞しました。文部科学省が、学生の能力・研究意欲を高め、創造性豊かな科学技術人材を育成するこ

とを目的に開催しているもので、小林さんは「糖尿病マウスモデルにおける記憶障害のメカニズム」をテーマにポスター発表を行い、最も優秀な研究発表として評価されました。



人文社会学部

トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム 第4期生決定

文部科学省が実施している官民協働海外留学支援制度「トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム」の4期生が決定し、人文社会学部3年の三木浩江さんが派遣留学生として

選ばれました。三木さんは2016年5月から2017年3月まで、抹茶の需要とマーケティングの可能性を追求するため、アジア諸国や欧米でインターンシップに取り組みます。

国際交流



トルコ・ハジェテペ大学 コンタクトポイント設置

本学初の海外拠点としてトルコの協定校ハジェテペ大学のコンタクトポイントを設置することを記念し、2016年3月24日(木)、開所式を開催しました。

当日はスカイプのビデオ通話を利用した合同式典を試み、両学長の挨拶や看板除幕が行われました。コンタクトポイントは国際交流センター(滝子(山の畑)キャンパス)に設置されます。



看板はハジェテペ大学のコンタクトポイントに設置されます



スカイプを利用した合同式典の様子

文藻外語大学と交流協定を締結

2016年3月3日(木)、台湾・高雄市の文藻外語大学と大学間交流協定を締結しました。これにより大学間交流協定校は27校となりました。



文藻外語大学

PRIZE

受賞

※受賞期間：2016年2月1日～4月30日 ※敬称略、各研究科ごと・受賞日順に掲載

医学研究科



The Asian Pacific Association
for the Study of the Liver
APASL2016 Award,
Presidential Award

ウイルス学分野
研究員
林 佐奈衣



The Asian Pacific Association
for the Study of the Liver
APASL2016 Award,
Young Investigator Award

消化器・代謝内科学分野
病院助教
飯尾 悦子



31th Annual Congress of the
European Association of Urology
EAU Best Poster

腎・泌尿器科学分野
臨床研究医
海野 怜



31th Annual Congress of the
European Association of
Urology EAU Best Poster

腎・泌尿器科学分野
研究員
黒川 覚史



The 9th Annual Meeting for
Japanese Developmental Neuroscientists
Developmental Neuroscience Award

再生医学分野
助教
澤田 雅人

★

名誉教授称号授与

- 医学研究科 伊藤 猛雄 教授
- 経済学研究科 井上 泰夫 教授、松村 文人 教授、
程島 次郎 教授、焼田 党 教授
- 人間文化研究科 石川 洋明 教授、野村 直樹 教授、滝村 雅人 教授
- 看護学部 山本 喜通 教授
- システム自然科学研究科 能登原 盛弘 教授

以上の各位に、2016年4月1日(金)付で名誉教授の称号が授与されました。それぞれの専門分野において研究・教育に尽力される一方、本学の発展及び管理運営に大きく貢献された各氏に、多年にわたるご尽力を感謝するとともに、今後のご活躍をお祈りします。



平成28年 熊本地震によせて

熊本県を中心とした地震により被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。

本学では、医学部附属病院から、医療救護班とDPAT(災害派遣精神医療チーム)を熊本地震の被災地に派遣しました。出発式ではメディアの取材も受け、より一層の責任感を持って、避難所、救護所等での支援活動に尽力しました。

また、2016年4月23日(土)、24日(日)の2日間、熊本県出身の学生を中心とした80名の学生で、義援金の募金活動を行いました。2日間で973,037円の募金をお寄せい

ただき、中日新聞社会事業団及び熊本県庁(順不同)を通して、被災された方々にお届けいたします。



医療救護班の出発式の様子



学生による募金活動



中日新聞社会事業団へ義援金を寄託する様子

イベント参加者募集!

名古屋市立大学が主催するさまざまなイベントの情報をお届けします。ぜひご参加ください。

■内容・場所・申込方法等の詳細は、ホームページをご覧ください。

Human&Social サイエンスカフェ

開催日	内容	時間・場所・費用	申込方法
6.25 SAT	第76回 シリーズ「欧米」を考える(7) 「時計じかけの保安官 ～西部劇映画における時間の主題～」 (西部劇のヒーローはなぜ時計を気にするのか。) 講師:人間文化研究科 准教授 川本 徹	15:00～17:00 桜山(川澄)キャンパス西棟1階 サクラサイドテラス 費用:1,000円(スイーツ盛合せ+飲み物)	お名前・ご連絡先・参加希望講座名を記入の上、お申し込みください。 メール:institute@hum.nagoya-cu.ac.jp TEL・FAX:052-872-3536 ※開催月の1か月前の第1月曜日(月曜日が休日の場合はその翌日)より申込開始。

地域連携セミナー

開催日	内容	時間・場所・費用	申込方法
7.9 SAT	「こころの健康について考えてみませんか? ～働く世代のメンタルヘルス～」	13:00～15:00 看護学部棟3階308講義室 費用:500円(資料代) 定員:100名	6月30日(木)までに、インターネット(名古屋市電子申請サービス)またはFAXのいずれかの方法でお申し込みください。 看護実践研究センターホームページ http://www.nagoya-cu.ac.jp/nurse/center/ FAX:052-853-8042

芸術工学部 卓展

開催日	内容	時間・場所・費用・申込方法
8.19 FRI - 8.21 SUN	芸術工学部 卓展 学生主体で行っている成果発表の展覧会です。	開催時刻未定 場所:北千種キャンパス 費用:無料 申込不要 詳しくは、芸術工学部ホームページをご覧ください。http://www.nagoya-cu.ac.jp/sda/ 情報が確定次第、順次公開します。

サイエンスカフェ in 名古屋

開催日	内容	時間・場所・費用	申込方法
6.17 FRI	第110回「電子はめぐる」 講師:システム自然科学研究科 准教授 徳光 昭夫	18:00～20:00 中区栄 ナディアパーク内 デザインセンタービル7階 7th cafe(セブンスカフェ) 費用:600円 (飲み物+お菓子) 定員:先着30名	お名前・ご住所・ご希望の回(開催日)をご記入の上、お申し込みください。 メール:scicafe@nsc.nagoya-cu.ac.jp TEL:052-872-5802 FAX:052-872-1531 ※開催日の翌週から、次回開催分の受付を開始いたします。
7.15 FRI	第111回「12分割の「音学」 ～なぜ1オクターブを12音に分けるのか～」 講師:システム自然科学研究科 准教授 田中 豪		
8.26 FRI	第112回「ご先祖様はいずこから?ご消息は? ～微生物の起源と進化～」 講師:システム自然科学研究科 准教授 櫻井 宣彦		



最近発行された教員の著書・発行者等を紹介します。

●教職員の皆様へ…本を出版された方は、今後の誌面で紹介させていただきますので、事務局企画広報課までご一報ください。



著者:経済学研究科
准教授
坂和 秀晃
渡辺 直樹

2016年3月
出版:ミネルヴァ書房

「金融自由化で日本の証券市場は
どう変わったか

～市場流動性とマーケット・マイクロ
ストラクチャー分析～



著者:芸術工学研究科
准教授
藤井 尚子

2015年12月
出版:風間書房

「赤の力学

～色をめぐる人間と自然と社会の構造～

寄附顕彰

大学振興基金へのご寄附ありがとうございました。

■個人

100,000円以上 金森 俊輔 様、庭本 洋子 様
50,000円以上 白川 弘之 様
10,000円以上 小島 和子 様、小山 邦夫 様
5,000円以上 羽柴 良樹 様
非公表 臼杵 政治 様、奥村 喜美子 様、
兒玉 浩一 様、澤田 昂毅 様、
田多 麻紀子 様、藤井 勝善 様、
藤田 久美子 様

■団体

1,000,000円以上 株式会社中日新聞社 様
日本ストライカー株式会社
代表取締役社長
グレアム・マククリーン 様

※五十音順。2016年1月1日から3月31日までに寄附いただき、公表に同意された方。

※インターネットからお申込みいただいた方につきましては、クレジットカード会社または決済代行会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。

ご意見・情報
募集中!

<本学教職員の皆さまへ>

広報誌「創新」のご感想や掲載したい情報を、ぜひ事務局企画広報課までお知らせください。また、広報に関する報告・相談には、教職員限定サイト「広報ホットライン」をご活用ください。

ご協力ください

敷地内・周辺道路は禁煙です。

